

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-040043
(43)Date of publication of application : 20.02.1991

(51)Int.Cl. G06F 12/00
G06F 12/00

(21)Application number : 01-175200

(71)Applicant : HITACHI LTD

HITACHI SOFTWARE ENG CO LTD

(22)Date of filing : 06.07.1989

(72)Inventor : TAKAHASHI NORIYUKI

NISHIZAWA KAZUNORI

TAKASHI RINICHI

SAKAI NAOFUMI

TANABE KOUJI

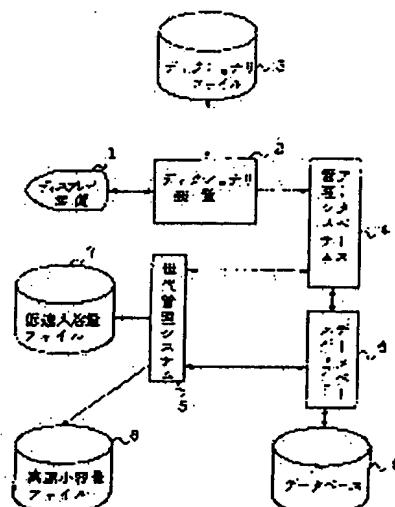
YASUE NOBUHIRO

(54) DATA BASE GENERATION MANAGING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To integrally manage plural generations by controlling the generation management of a data base with a dictionary device.

CONSTITUTION: As for the dictionary device 2, that which is incorporated in a data base managing system 4 is provided externally and independently so that the read-out and the change of generation information can be executed arbitrarily and directly from a user. Thus, the system is improved functionally. Also, both files 7, 8 of low speed and high speed are also provided so that the generation information can be fetched by each separate contents by connecting them to a generation managing system 5. In this state, when a user executes a designating operation from a keyboard, an access is executed to a dictionary file 3 in which generation management information is stored so that its contents can be displayed on a display device 1, and also, the generation management information can be changed arbitrarily. In such a manner, the generation information of a data base can be obtained at a arbitrary time, and also, plural generations can be managed integrally.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑪ 公開特許公報 (A) 平3-40043

⑫ Int. Cl. 5
G 06 F 12/00識別記号 302 J 8944-5B
301 W 8944-5B

⑬ 公開 平成3年(1991)2月20日

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全8頁)

⑭ 発明の名称 データベース世代管理方式

⑮ 特願 平1-175200

⑯ 出願 平1(1989)7月6日

⑰ 発明者 高橋 典幸 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア工場内

⑰ 発明者 西沢 和憲 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア工場内

⑰ 発明者 高志 林一 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア工場内

⑰ 出願人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑰ 出願人 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

⑰ 代理人 弁理士 磯村 雅俊

最終頁に続く

明治田

1. 発明の名称

データベース世代管理方式

2. 特許請求の範囲

1. データベース管理システムに内蔵され、かつデータベースの世代情報を管理するディクショナリ装置と、上記世代情報を蓄積するディクショナリファイルとを備えたデータベースシステムにおいて、上記データベース管理システムとデータ格納ファイルとの間に世代情報に従ってデータを取得する世代管理システムを設け、かつ上記ディクショナリ装置を上記データベース管理システムから独立させて、該ディクショナリ装置をディスプレイ装置と上記ディクショナリファイルと上記データベース管理システムにそれぞれ接続し、上記ディスプレイ装置から世代情報を項目単位に指定して新規登録ないし変更登録するとともに、該世代情報の取得タイミングを任意に指定すると、指定された世代情報

を上記ディクショナリ装置により上記ディクショナリファイルに登録し、上記データベース管理システムが上記ディクショナリファイルに登録された世代情報により、上記世代管理システムに対してデータベースの出力要求を行うことにより、該世代管理システムは登録された世代情報に従ってデータベースよりデータを読み込み、該データを指定されたデータ格納ファイルに出力することを特徴とするデータベース世代管理方式。

2. 上記ディクショナリ装置は、データベースの世代情報が新規登録ないし変更登録されたとき、データ格納ファイルの変更指定を行うことにより、登録された世代情報の項目別および世代管理レベルに応じて、データ格納ファイルの接続を変更することを特徴とする請求項1に記載のデータベース世代管理方式。

3. 上記ディクショナリ装置は、登録された世代情報を最初は装置内の拡張メモリないしICディクスに記憶しておき、予め定められた時点で

上記拡張メモリないし I C ディスクから大容量の光ディスクに登録された世代情報を移し替えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のデータベース世代管理方式。

4. 上記ディクショナリ装置は、接続されているデータ格納ファイルの容量に応じて、登録されている世代情報中のデータ取得間隔を定めたインターバル値を変更することを特徴とする請求項 1, 2 または 3 に記載のデータベース世代管理方式。

5. 上記ディクショナリ装置は、年度の呼び出しに対して年度データを取り出すようにして、世代情報の呼び出し単位を知識化し、かつ世代取得ステータスを表示することを特徴とする請求項 1 ~ 4 の中の 1 つに記載されたデータベース世代管理方式。

6. 上記世代情報毎のデータは、ネットワークを介してローカルファイルに分散管理されるとともに、記録ジャーナルのような未記帳レコードはそのまま世代レコードとして保存されること

- 3 -

は、世代管理情報を更新したり、出力したりするディクショナリ装置が内蔵されているため、全て応用プログラムからの要求により、ディクショナリ装置を起動させて、これらの処理を行っていた。従って、利用者が直接、世代管理情報を更新したり、指定したりすることはできなかった。

一方、従来の世代管理方法としては、例えば、特開昭 61-243541 号公報に記載されているように、時系列データファイル管理方式として、取得する時刻とインターバルを用いて、データをラップアラウンドに管理する方法がある。すなわち、最初に時系列データを取得した時刻を T₀ とし、それ以降は取得間隔 t₀ で順次データを取得するものと仮定すると、任意の時刻 T₁ に取得されたデータの番号 N は、N = (T₁ - T₀) / t₀ により求められる。従って、基点時刻設定器と時刻から番号への変換器と割算器とを設けることにより、データベースから希望する時刻の時系列データを正確迅速に取り出すことができる。

[発明が解決しようとする課題]

を特徴とする請求項 1 ~ 5 の中の 1 つに記載されたデータベース世代管理方式。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、データベースの世代管理において、世代情報をディクショナリ装置の指定により取得し、世代情報のレベルに応じた格納庫を選択してデータを格納するデータベース世代管理方式に関する。

[従来の技術]

データベースの大規模化および多様化に伴って、データベースの世代情報を管理する必要が高まっている。一般に、世代情報は取得する単位によっては膨大なものとなるため、世代情報を効率よく管理する必要がある。

従来のデータベースシステムでは、データベース管理システム(DBMS)の下に、データベースが接続され、利用者の応用プログラムは、データ記述言語を用いてデータベースに対する処理要求を出す。この場合、データベース管理システムに

- 4 -

上記公報に記載された従来の方式では、管理办法をプログラムロジックで実現しているため、一旦数値を設定するとプログラムを変更修正するまでは変えられないという問題があった。すなわち、時系列データを一定の間隔で採取する必要があり、また世代管理すべきインターバル、格納場所、蓄積有効期限等も全て一定値に固定されている。従って、必要に応じて任意の時刻にデータを取得しようとしても、一定の間隔だけ待機してデータを取得しなければならなかつた。

本発明の目的は、このような従来の課題を解決し、データベースの世代情報を任意の時刻に取得することができ、かつ複数世代を統合的に管理することが可能なデータベース世代管理方式を提供することにある。

[課題を解決するための手段]

上記目的を達成するため、本発明のデータベース世代管理方式は、(イ)データベース管理システムに内蔵され、かつデータベースの世代情報を管理するディクショナリ装置と、上記世代情報を蓄

積するディクショナリファイルとを備えたデータベースシステムにおいて、上記データベース管理システムとデータ格納ファイルとの間に世代情報に従ってデータを取得する世代管理システムを設け、かつ上記ディクショナリ装置を上記データベース管理システムから独立させて、該ディクショナリ装置をディスプレイ装置と上記ディクショナリファイルと上記データベース管理システムにそれぞれ接続し、上記ディスプレイ装置から世代情報を項目単位に指定して新規登録ないし変更登録するとともに、該世代情報の取得タイミングを任意に指定すると、指定された世代情報を上記ディクショナリ装置により上記ディクショナリファイルに登録し、上記データベース管理システムが上記ディクショナリファイルに登録された世代情報により、上記世代管理システムに対してデータベースの出力要求を行うことにより、該世代管理システムは登録された世代情報に従ってデータベースよりデータを読み込み、該データを指定されたデータ格納ファイルに出力することに特徴がある。

- 7 -

トワークを介してローカルファイルに分散管理されるとともに、記録ジャーナルのような未記帳レコードはそのまま世代レコードとして保存されることにも特徴がある。

【作用】

本発明においては、従来、データベース管理システムに内蔵されていたディクショナリ装置を外付けにして独立させ、利用者がキーボードから指定操作することにより、世代管理情報を格納しているディクショナリファイルにアクセスして、ディスプレイ装置にその内容を表示できるとともに、任意に世代管理情報を変更できるようにした。そして、世代管理システムを設けることにより、データベース管理システムから世代管理システムに対して要求を出すことにより、データベースの世代管理情報をディクショナリ装置を介して読み取り、その指定に応じて世代情報を取得し、かつ格納できるようにした。すなわち、取得する世代情報を項目単位に指定するとともに、世代情報の取得タイミングを任意の時刻に指定することにより、

また、(ロ)ディクショナリ装置は、データベースの世代情報が新規登録ないし変更登録されたとき、データ格納ファイルの変更指定を行うことにより、登録された世代情報の項目別および世代管理レベルに応じて、データ格納ファイルの接続を変更することにも特徴がある。また、(ハ)ディクショナリ装置は、登録された世代情報を最初は装置内の拡張メモリないし I C ディクスに記憶しておき、予め定められた時点で上記拡張メモリないし I C ディスクから大容量の光ディスクに登録された世代情報を移し替えることにも特徴がある。また、(ニ)ディクショナリ装置は、接続されているデータ格納ファイルの容量に応じて、登録されている世代情報中のデータ取得間隔を定めたインターバル値を変更することにも特徴がある。また、(ホ)ディクショナリ装置は、年度の呼び出しに対して 4 月から翌年の 3 月までのデータを取り出すようにして、世代情報の呼び出し単位を知識化し、かつ世代取得ステータスを表示することにも特徴がある。さらに、(ヘ)世代情報毎のデータは、ネッ

- 8 -

その取得タイミングでデータベースをファイルに格納できるようにしている。

【実施例】

以下、本発明の一実施例を、図面により詳細に説明する。

第 1 図は、本発明の一実施例を示すデータベースシステムのブロック図である。

第 1 図において、1 はコンソールとしてキーボードと一対で設置されたディスプレイ装置、2 は利用者からの指示によりディクショナリにアクセスし、世代情報を読み出してディスプレイ装置に表示したり、更新するためのディクショナリ装置、3 は世代管理情報を格納しているディクショナリファイル、4 はデータベースを管理するデータベース管理システム、5 はディクショナリファイル 3 の世代情報に従って、データベースに格納されたデータを指定されたファイルに出力するための世代管理システム、9 は 1 以上のファイルの集まりであり、検索や更新の効率化を図ったデータベース、6 は頻繁に読み出されるデータの写し

を格納しておくデータベースバッファ、7は取得するデータを格納する低速大容量のデータファイル、8は同じく取得するデータを格納する高速小容量のデータファイルである。

第1図において、本発明により新たに設けられた機構は、世代管理システム5と低速大容量ファイル7と高速小容量ファイル8とディクショナリ装置2である。なお、ディクショナリ装置2はデータベース管理システム4に内蔵されていたものを外付けにして独立させることで、利用者から直接、世代情報の読み出しと変更を任意に行えるようにして、機能的に新しくし、また低速高速の両ファイル7、8も従来はデータベース管理システム4に直接接続されていたものを世代管理システム5に接続替えすることで、世代情報の内容別に取り出すことができるようしている。

データベースの世代管理情報を登録する場合、利用者はディスプレイ装置1からディクショナリ装置2に対して、世代管理を行うデータベースの定義情報をディクショナリファイル3から呼び出

- 11 -

ここで、データベース管理システム4および世代管理システム5は、いずれもプログラムを実行することにより所定の処理を行うCPUであって、それぞれの機能を果すプログラムを内蔵する。

世代管理システム5は、データベース管理システム4から起動されると、世代管理情報を受け取り、その世代管理情報に従ってデータベースバッファ6から所定のデータを読み出し、低速大容量ファイル7または高速小容量ファイル8に出力して、それぞれ格納する。世代情報の出力先、およびインターバルは、前述のように、利用者がディクショナリ装置2を介して登録することにより、任意に指定することが可能である。また、利用者はディクショナリ装置2を介して指定することにより、任意のタイミング(日時)でデータベースを取得できるようにする。

世代管理情報の表示および更新を行う場合、利用者はディスプレイ装置1からディクショナリ装置2に対して、その世代管理情報の表示を要求する。ディクショナリ装置2は、要求されたその世

代管理情報をディクショナリファイル3にアクセスして、所定のデータベースの世代管理情報中の定義情報を読み出し、ディスプレイ装置1に表示する。利用者は、ディスプレイ装置1に表示された定義情報に、世代管理情報を指定し、ディクショナリ装置2を介してディクショナリファイル3に登録する。データベース定義情報とは、氏名番号、氏名、年令、給料、家族人数、勤務年数、等これらに対応する文字の長さと、属性などが含まれる。これらは、データベースを定義する情報である。世代管理情報とは、各定義情報で定義されたデータベースを世代管理するための情報で、ファイルに取得するインターバル(期間)、取得すべき格納場所(ファイル)、保有すべき有効期限等が含まれる。

データベース管理システム4は、ディクショナリファイル3に登録された世代管理情報により、世代管理システム5に対してデータベースバッファ6に格納されているデータベース9の内容を、世代情報ファイル7、8に出力する要求を行う。

- 12 -

代管理情報をディクショナリファイル3から呼び出して、ディスプレイ装置1に表示する。世代管理情報の例えれば取得インターバルの値を変更する場合、利用者は、ディスプレイ装置1に表示された世代管理情報のうち、取得インターバルの値を変更する。例えば、1年毎に取得する期間を2年毎に取得するように変更したいときには、インターバル値1を2に更新する。

このように、世代情報取得情報の更新が必要な場合には、ディスプレイ装置1に表示された内容をキーボード等から直接書き換えることにより、ディクショナリ装置2を介してディクショナリファイル3に書き込むことができる。

第2図は、第1図におけるディクショナリ中の世代管理情報の一例を示す図である。

第2図に示すように、この例では、データベース定義情報であるフィールド、長さ、属性が指定され、各定義情報にそれぞれ対応して、世代管理情報である世代取得のインターバル、取得データの格納場所、および保有データの有効期限が指定

される。例えば、氏名番号は入社したときに登録される社員番号であって、文字の長さは 10 字、属性は I、取得するインターバルはキーワードとして常時取得され、取得時の格納場所はファイル 1 であることが指定される。また、氏名は 30 文字の長さが必要で、属性は C、年 1 回の取得で、ファイル 1 に格納することが指定される。また、年令は、3 文字必要で、属性は I、年 2 回の取得が必要であり、ファイル 1 に格納することが指定される。また、給料は、7 文字が必要で、属性は I、年 2 回のインターバルで取得し、ファイル 1 に格納することが指定される。いずれも、有効期限は未定である。これも、30 年あるいは 40 年等に登録することができるのは勿論である。

世代管理情報を登録・変更する場合には、ディスプレイ装置 1 にデータベース定義情報とともに、対応する世代管理情報が表示されるので、世代管理情報の任意の欄を更新すればよく、また空白の欄に書き込むことにより登録される。

第 3 図は、世代管理システムの動作フローチャ

- 15 -

場合には 9 月 30 日も) で取得されることになる。次に、このフィールド情報に対応するデータの格納場所(O(i)) の指定があるかを判断し(ステップ 55)、大容量ファイルへの出力(ステップ 56)、または小容量ファイルへの出力(ステップ 57)を行う。第 2 図の場合には、全てファイル 1、つまり大容量ファイル 7 への格納が指定されている。そして、これらのファイルへの出力が終了したならば、カウンタを更新して(ステップ 58)、最初に戻り、フィールド情報数分だけ同じ処理を繰り返し行った後、処理を終了する。

次に、本発明の応用例を説明する。

(i) 先ず、データベースに対して、複数の世代情報を管理する時に、データの項目別および世代管理レベルに応じて世代データの格納場所を変化させることができる。すなわち、第 2 図では、全てのフィールド情報に対して同一のファイルに格納することにしているが、フィールド情報毎に異なる格納場所、例えば氏名番号と氏名のデータはファイル 1、年令のデータはファイル 2、給料の

トである。

先ず世代管理システム 5 内のプログラムによるカウンタの値 i を初期化し(ステップ 51)、次に世代管理情報のフィールド情報 DCT(i) が存在するか否か判断する(ステップ 52)。なお、フィールド情報 DCT は、例えば第 2 図の氏名番号、氏名、年令、および給料等の情報であり、カウンタ i = 1 が氏名番号、i = 2 が氏名、i = 3 が年令、i = 4 が給料となり、4 回同一処理が繰り返される。フィールド情報 DCT(i) が存在するときには、そのフィールド情報(i = 1 では氏名番号)に対応する世代情報取得指定(G(i)) があるか否かを判断し(ステップ 53)、あれば、データベースバッファ 6 からそのフィールド情報を入力する(ステップ 54)。第 2 図の場合には、氏名番号はキーワードとして毎回使用し、氏名は年 1 回のインターバル、年令も年 1 回のインターバル、給料は年 2 回のインターバルで、取得することが指定されている。そして、利用者から指定されたタイミング(例えば、毎年 3 月 31 日と年 2 回の

- 16 -

データはファイル 3 のように変化させることができる。また、世代管理レベル、つまり年 1 回の氏名と年令のデータはファイル 1 に、年 2 回の給料のデータはファイル 2 に、それぞれ格納することも可能である。

(ii) ディクショナリ装置が、世代管理情報を項目別に指定できるようにする。例えば、第 2 図の場合には、フィールド別に、氏名を指定した場合には、その氏名に対応するデータベース定義情報の長さと属性、世代管理情報のインターバルと格納場所と有効期限のみがディスプレイ装置に表示され、その項目について指定した後、次の項目に移るようにして、誤りなく登録・変更ができるようになる。

(iii) 世代管理情報を管理するディクショナリ装置と、世代情報を管理するディスク装置と、世代情報のレベルに応じて、それぞれ格納場所を別個に備えることができる。すなわち、ディクショナリ装置 A, B, C に応じてファイル 1, 2, 3 に格納するようにし、またデータベースのディスク

- 17 -

装置A、B、Cに応じてファイル1、2、3に格納するようにし、さらに、世代情報のインターバルが1年、2年、3年以上に応じて、ファイル1、2、3に格納するようにできる。

(iv) 世代情報を全て拡張メモリまたはICディスクに配置するとともに、特定の時点でこれらの世代情報を光ディスクに書き出すようとする。すなわち、第1図に示すディクショナリファイル3を光ディスクとし、最初は世代情報をこの光ディスクには書き込まずに、ディクショナリ装置2内の拡張メモリまたはICディスクに記録しておき、メモリ容量が不足した時点で光ディスクにこの情報を移すようとする。

(v) 世代データセット(ファイル)の容量に応じてインターバルを調整する機能を持たせる。また、未記帳レコードをそのまま世代レコードとして保存する方法を用いる。すなわち、データを格納するファイル1、2、3の容量の比が1:2:3のとき、ファイル1、2、3に3年以上のインターバルのデータ、2年のインターバルのデータ、1

- 19 -

するのである。

(ix) 銀行オンラインシステムにおいて、未記帳レコードを世代情報として保存する。すなわち、ログ情報として、記録ジャーナル等の未記帳レコードを保存しておき、世代情報とするのである。

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、データベースの世代管理をディクショナリ装置により制御するようにしたので、世代情報の取得方法や格納場所を必要に応じて容易に調整することができ、データベースの世代情報を任意の時刻に取得することができ、その結果、複数世代を統合的に管理することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す世代管理を行うデータベースシステムのブロック図、第2図は第1図における世代管理情報のフォーマット例を示す図、第3図は第1図における世代管理システムの動作フローチャートである。

1:ディスプレイ装置、2:ディクショナリ装

年のインターバルのデータを、それぞれ格納するように調整する。そして、例えば記録ジャーナル等の未記帳レコードをそのまま世代レコードとして保存することもできる。

(vi) 世代データをネットワークを介して分散管理することが可能である。その場合、アクセス頻度の少ない世代レコードは地方(ローカル)に分散させる。

(vii) 世代情報の呼び出し単位を知識化する。例えば、年度が与えられると、4月から翌年3月までを取り出すようとする。

また、世代取得ステータスの表示をするようとする。例えば、項目の指定により、世代数を表示する。

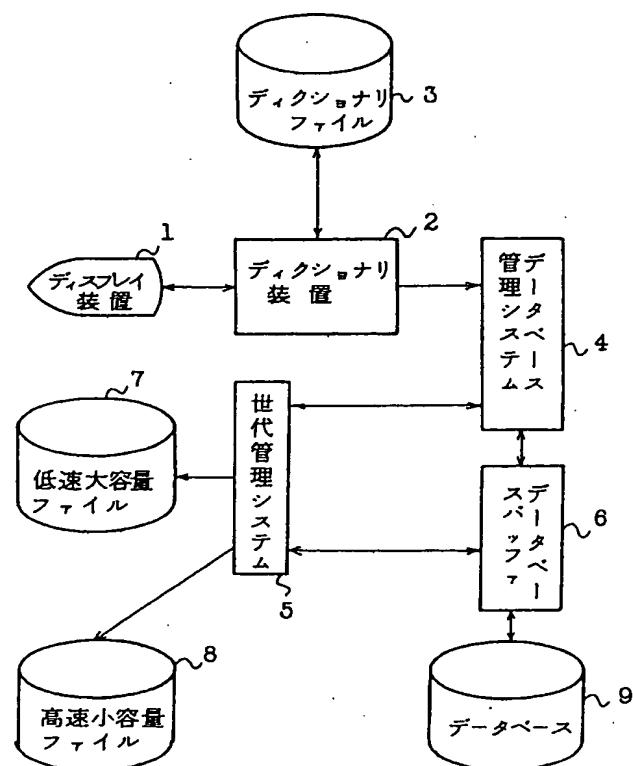
(viii) 項目別の世代情報を用いた意思決定支援システムを構築する。すなわち、支援システムは、データベースシステムの円滑な運用を実現するためのもので、データベースの初期生成、再構成、障害対策(回復)、動作監視等の機能も行う。これらの動作を行う際に、項目別の世代情報を利用

- 20 -

置、3:ディクショナリファイル、4:データベース管理システム、5:世代管理システム、6:データベースバッファ、7,8:ファイル、9:データベース。

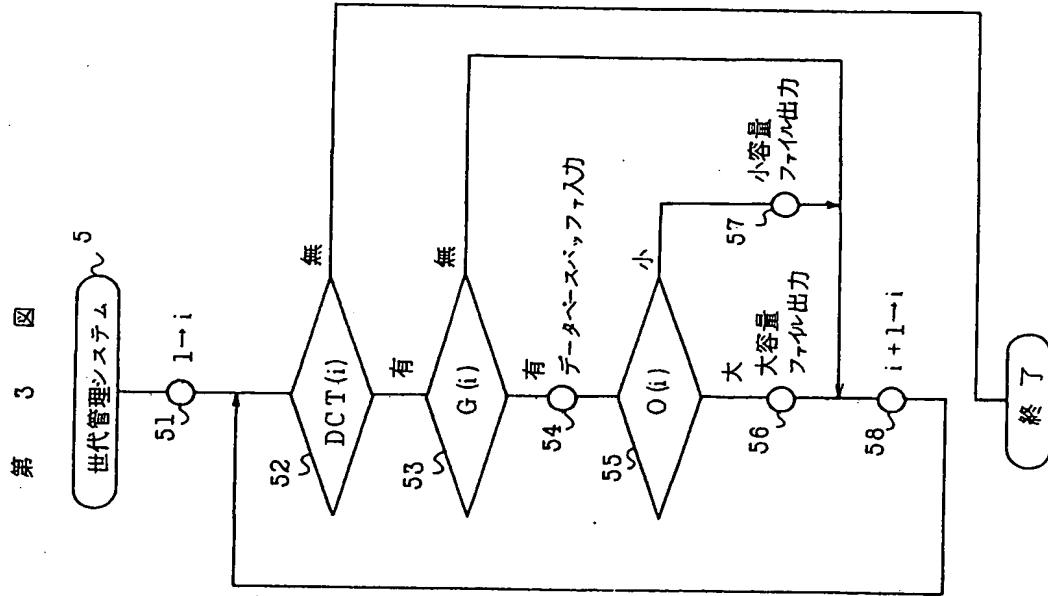
代理人弁理士 磯村雅俊

第 1 図



第 2 図

フィールド	長さ	属性		インターバル	格納場所	有効期限
氏名番号	10	I		キー	ファイル1	-
氏 名	30	C	-----	年1回	"	-
年 令	3	I		年1回	"	-
給 料	7	I		年2回	"	-
データベース定義情報				世代管理情報		



第1頁の続き

②発明者 酒井 直文 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内

②発明者 田辺 行治 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社内

②発明者 安江 伸浩 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 株式会社日立製作所内